

土門

土門拳記念館コレクション展

肉眼を超え
眼をたずね

拳

2022

10.29(土)→12.11(日)

開館時間—10:00—18:00(最終入館17:30)

休館日—毎週月曜日

観覧料—【一般】500円

【バスポートチケット】1,000円

(会期中ご本人は何度でも展覧会へ入場できます)

■高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方と介助者1名は無料

入場券販売所—八幡浜市民文化活動センター、八幡浜市文化会館、
八幡浜みなとみと交流館、愛媛新聞旅行

[取り寄せ]愛媛新聞社県内支社・エリアサービス、四国中央テレビ

主催—八幡浜市、八幡浜市教育委員会、第22回共同巡回展実行委員会
共催—愛媛新聞社

特別協力—公益財団法人さふた文化財団 土門拳記念館

特別協賛—日本通運株式会社 北九州支店

協力—愛媛県総合科学博物館、愛媛県商業写真家協会

後援—愛媛県、愛媛県教育委員会、八幡浜市文化協会、NHK松山放送局、
南海放送、テレビ愛媛、おいテレビ、愛媛朝日テレビ、八西CATV

助成—一般財団法人地域創造

八幡浜市美術館

YAWATAHAMA CITY MUSEUM



〒796-0066 愛媛県八幡浜市62-1 八幡浜市民文化活動センター1階

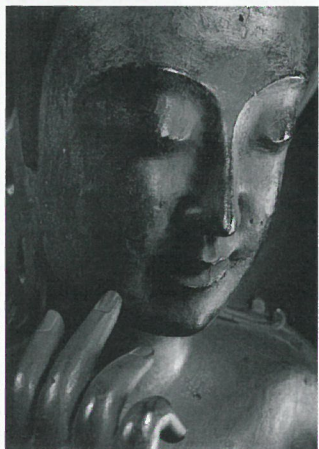
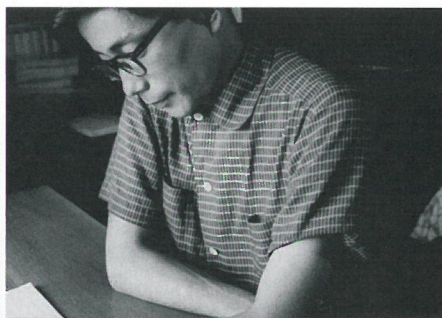
TEL. 0894-21-5355 FAX. 0894-21-5356 @ycca_center

土門拳(若い看護婦)1938年土門拳記念館蔵

令和5・4年度市町村立美術館活性化事業 第22回共同巡回展

激動の昭和を独特のカメラアイで切り撮り、日本の写真界に大きな足跡を残した写真家・土門拳(1909-1990)。戦前、戦中、戦後、復興、高度成長と、日本社会全体が目まぐるしく変化していく中、強烈な個性とこだわりを持って、一貫してそこに生きる日本人や現実社会を撮り続けました。同時に、古寺や仏像などを大型カメラで見据え、独特の美意識で、連綿と続く日本人の心を追究しました。発表された数多くの作品と土門拳の写真に対する考え方は、その時々、社会に影響を与え、日本の写真文化の形成にも大きな役割を果たしてきました。

本展は、土門拳記念館の協力のもと開催される巡回展で、八幡浜展が最後となります。写真界に影響を与えたライフワーク『古寺巡礼』をはじめ、『風貌』『ヒロシマ』『筑豊のこどもたち』、戦前から戦後の日本の姿を捉えた貴重な作品群など土門拳の代表作約120点を紹介します。携帯電話にもカメラ機能が搭載され、写真を撮るという行為が身近になった昨今、本展が写真やカメラの文化を改めて見つめなおす契機となれば幸いです。



- 1.《原爆ドームと元安川》1957年
 - 2.《大江健三郎》1959年
 - 3.《神田っ子》1955年
 - 4.《中宮寺 観音菩薩半跏像面相》1940年
 - 5.《ショウボート 銀座8丁目》1951年
 - 6.《平等院鳳凰堂夕焼け》1961年
 - 7.《平等院鳳凰堂の大棟鳳凰を撮影中の土門拳》1964年
- [撮影]土門拳(7を除く) すべて土門拳記念館蔵

1	2
3	4
5	7

[アクセス]
 ■ JR八幡浜駅より—徒歩15分/タクシー約6分/市内バス約6分「向灘」市立病院行き→「本町」下車徒歩3分
 ■ 八幡浜港より—徒歩約15分/タクシー約5分
 ■ 大洲ICより—車約50分
 ■ 三崎港より—車約40分
 [駐車場]
 美術館正面/約70台(無料)



関連イベント

①土門拳記念館による特別講演会

展覧会特別協力の土門拳記念館からゲストを招き、土門拳についてそれぞれお話しいたできます。

講師——[第1部]田中耕太郎氏(土門拳記念館学芸員)
 [第2部]藤森武氏(本展アドバイザー、土門拳記念館学芸担当理事)

日時——10.29(日) 10:30—
 場所——八幡浜市民文化活動センター 忠八ホール
 定員——先着100名(要事前申込)
 参加費——無料

②初心者向けポートレート講座

愛媛県営業写真家協会の菊池誠氏に構図や光の取り入れ方など撮影のコツを教えてもらい、撮影会をおこないます。ご家族やお友達などペアでお申し込みください。
 講師——菊池誠氏(愛媛県営業写真家協会文化部長、富士写真館代表取締役)

日時——11.6(日) 15:00—(2時間程度)
 場所——八幡浜市民文化活動センター 会議室
 定員——先着7組14名(要事前申込)
 持ち物——デジタルカメラ、カメラ付きスマートフォンなど
 参加費——1人500円(プリント代)

③横浜美術館学芸員・大澤紗蓉子氏による記念講演会

本展覧会カタログの総論執筆者である大澤紗蓉子氏をお招きします。

講師——大澤紗蓉子氏(横浜美術館学芸員)
 日時——11.27(日) 13:30—
 場所——八幡浜市民文化活動センター 会議室
 定員——先着50名(要事前申込)
 参加費——無料

④ピンホールカメラを作って撮ってみよう

作成したレンズ付きのピンホールカメラに感光紙をセットし、実際に写真撮影を行います。

講師——西田麒一郎氏
 (愛媛県総合科学博物館友の会科学クラブ)
 日時——12.3(日) 13:30—
 場所——八幡浜市民文化活動センター 会議室
 対象——小学3年生以上
 定員——先着15名(要事前申込)
 参加費——1人500円

関連イベント①—④の申込は
 9.21(日)10:00より美術館事務所もしくは電話にて受付
 TEL.0894-21-3335

⑤ギャラリートーク

担当学芸員と一緒に展示室内を巡り、土門拳展の見どころやポイントを紹介します。

日時——11.19(日) 13:30—(1時間程度)
 場所——八幡浜市美術館 展示室
 参加費——入場料

⑥巨大カメラオブスキュラ体験

大人が一度に2人入ることができるキューブ型の巨大カメラオブスキュラがロビーに登場。カメラの原理(針孔現象)を内側から体験できます。

日時——会期中
 体験場所—八幡浜市民文化活動センター ロビー
 体験無料

新型コロナウイルス感染症の状況により、掲載内容等を変更する場合がございます。最新の情報はホームページもしくはお電話にてご確認ください。



@ycca_center